

テーマ：『 環境を守ろうとする実践力を身につけた生徒の育成 』

栃木県立 佐野高等学校附属中学校 Tel. 0283-23-0161 担当者： 猿橋 誠



■実践内容:

本校では、主に総合的な学習の時間(未来探究プログラム)や生徒会活動を通して、以下の活動を実施した。

- 1 本校が所有する学校林を活用しての下草刈りや堆肥づくり、間伐や椎茸の駒打ち体験
- 2 佐野市出身の田中正造についての学習と足尾での砂防事業についての講話と植樹体験
- 3 学校内の空き地を利用しての畑づくりからのサツマイモ栽培と収穫、調理活動
- 4 生徒会(環境委員会)が中心となり、ゴーヤによる緑のカーテン作り

■実践成果:

- 1 生徒にとって下草刈りや間伐は初めての経験であったが、その必要性を感じるとともに、自然環境を守る大切さを理解することができた。
- 2 日本の産業の発展を支えた光の部分と足尾の鉱毒事件という公害の原点の影の部分进行学习することで、環境に対する問題の奥の深さを認識することができた。
- 3 畑作りから収穫まで、生徒が主体的に実践する中で、様々な発見による感動の言葉が聞かれ、環境の大切さや生命のつながり、働くことや将来の生き方などについて一人一人が深く考え、感じる事ができた。

■実践ポイント:

上記実践内容は、本校の教育目標を具現化するための様々な教育活動の一つである。特に、環境について考え、守ろうとする実践力を身につけた生徒を育成することは、本校の目指す生徒像である「国際人として活躍できる真のリーダー」にとって必要な資質・能力・態度の一つであると考えます。

